

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	下呂市	学校名	下呂市立竹原中学校			
校長名	前田 芳隆	対象学年	3年・全校	人数	108人	
活動名	地域と共にある竹原中	時間数	3年(25時間)、全校(教育課程内20時間・教育課程外60時間)		継続年数	2年
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [] 2 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [] ③ 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [盆踊り他] ④ 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [福祉ボランティア活動] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [地域貢献活動] ⑥ その他(交通マナーアップ宣言・下呂PR活動) []					
複数年継続するための工夫改善	「9年間の全体計画の作成」竹原小学校から9年間継続し発達段階に合わせ、ねらいの明確化。 「竹原中教育ビジョンへの位置づけ」1年を6期に分け、具体的な目標や付けたい力の見通し。 「生徒の主体的な動き」地区別生徒集会等で地域の方の意見を元に、自分達の思いで活動を展開。 「つながる継続」活動が単発に終わらないよう手紙や訪問等、継続的な人とのつながり作り。					
<p>1 ねらい</p> <p>学校経営方針「ふるさとを愛し、ひとりだちを誇る生徒の育成」に基づき、学校生活で身につけた力を生徒が主体と成り地域で発揮すると共に、地域と共にある学校を目指す。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>『ふるさと竹原愛をわすれない』昨年度からの3年生の活動を受けて生徒会が中心に地域貢献活動に取り組んだ。「地域と共にある竹原中」として、自分たちでできることを計画し実践した。地域の方々も動き出した。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>① 昨年度からの思いを受け、3年生の修学旅行では、下呂市観光大使に任命されて、東京浜松町駅で、ふるさと下呂の良さをPRした。また、記念品等を1000部配布した。</p> <p>② 地区別生徒集会に区長・地域の方を招いて、中学生に期待されることを聞き、草取りや地域の行事に積極的に参加すること、独居老人宅への訪問等、自分達でできることを話し合い計画した。</p> <p>③ 夏休みに独居老人宅へ手作り弁当を届けたり、地域にある介護施設にボランティアに出かけたりした。老人とのふれあいゲートボールや地域の施設への訪問等多くの地域と関わる活動に積極的に参加。</p> <p>④ 10月には各地区ごとに、『竹原エリア掃除』とし、全校で公民館や神社の掃除や草取り。その後独居老人宅の訪問。11月には種から育てた花(ビオラ等)を独居老人宅に届けた。今後も自分の地区の方との関わりを継続していく。</p> <p>⑤ 交通マナーについて地域の方からいただいた指摘を受け、生徒会が「交通マナーアップ宣言」をして実践した。その様子について地域の方々に評価していただくと、昨年度より良い評価がいただけた。</p> <p>⑥ 地域行事にもっと参加したいという中学生の思いを受け、本年度は竹原の全4地区で「盆踊り練習会」が自主的に行われ、中には小学生にも輪が広がった。今までにない地域行事が盛り上がり、中学生の参加で地域が元気になったと嬉しい声が寄せられた。</p> <p>⑦ 「地域と共に」を合言葉に、地域の防災訓練に参加し、独居のお年寄り宅を中学生が訪問して安否確認をしたり、緊急時の対応について教えていただき実践したりした。</p> <p>⑧ 毎月1・15日に、生活委員が登校時に通学路や、竹原小学校に出向きあいさつ運動を継続している。</p> <p>⑨ 昨年度に引き続き、中3が地域の方々(竹原っ子会議関係者)と座談会をもった。「住み続けたい『ふるさと・竹原』にするために」をテーマに、グループに分かれて語り合った。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <p>○地区別生徒集会や座談会で、地域の方々の思いを知り、一緒になってこれからの竹原を考え、できることを実践して地域の方に喜んでいただけたことで、地域に貢献したいと思う気持ちがより強くなった。</p> <p>○地域の行事に参加し積極的に盛り上げる姿、困っている方を見て自分一人でも「手伝いましょうか」と進んで関わる姿、小学校の運動会の片付けに参加しやりきる姿等「いつでも・どこでも・一人でも」思いを持ってやりきる実践力がついた。</p> <p>○中学生の思いを受け、全地域で盆踊り練習会を開いてくださったことで、地域の盆踊りにたくさんの方が集まり、中学生が地域を元気にしているという声を聞き、地域の一員である自覚が高まった。地域の方も「地域の子は地域で育てる」「人と人との繋がりが大切である」という地域作りへの主体的意識が高まった。</p> <p>○下呂市から『ふるさと観光大使』の委嘱を受け、修学旅行中に東京モノレール浜松町駅で、下呂市の観光PRを行う活動を通して、ふるさとに対する愛着と誇りがより強くなった。</p>						